

次期学習指導要領 1枚まとめ｜中学校

音楽・美術 中学校

思いをもつことから表すまでを、一続きの学びに

10秒でいうと　美術は発想から工夫して表すまでを「思考・判断・表現」に。鑑賞にも「技能」を示す

中学校の音楽と美術でも、思いをもつことと表すことを一続きでとらえる方向です。美術は、発想から工夫して表すまでを「思考・判断・表現」として示し、鑑賞にも「技能」を示す方向です。音楽は、知識と技能を一文で示し、身体の使い方を重視する方向です。漫画やアニメーション、映像などの表現や鑑賞も、端末を使って充実させる方向です。

1 美術は学びの向きが分かる区分に

美術では、活動そのものが目的になり、育てたい力があいまいな指導が見られるとされました。そこで「自分と美術」「生活や社会と美術」のように、学びの方向が分かる区分で整理する例が示されています。発想・構想から工夫して表すまでは、まとめて「思考・判断・表現」とする方向です。

P214 P215 P216

授業では 「生活や社会と美術」の視点で校内の案内表示をデザインし直し、使う人の声をもとに改善する、といった題材が考えられます。

2 鑑賞の技能と〔共通事項〕の見直し

美術作品から特徴を見付けたり、情報を読み取ったりする「鑑賞の技能」を示す方向です。〔共通事項〕（表現と鑑賞の両方で働く事項）には、造形の働きや美術文化などを示す方向です。中学校では、具体的すぎる記述を内容の取扱いに移すことも示されています。 P216 P219

授業では 作品の構図や色の対比を手掛かりに作者の意図を読み取り、根拠を挙げて紹介文を書く、といった授業が考えられます。

3 音楽は知識と技能を一文で、身体の使い方を重視

音楽では、知識と技能の関係をはっきりさせ、一文で示す方向です。「自分でやってわかる」ことが前提とされています。歌唱や器楽では、いろいろな歌い方や楽器に対応できる技能として、身体の使い方を重視します。中学校の鑑賞は、内容の取扱いと重なる記述を整理するとされています。

P216 P219

授業では 合唱の練習で息の使い方を変えて歌い比べ、響きの違いを言葉にしてから表現を工夫する、といった授業が考えられます。

4 漫画・アニメ・映像の学びと生成AIの扱い

漫画、アニメーション、映像などの多様なメディアによる表現と鑑賞を、端末を使って充実させる方向です。特別なソフトがなくても、撮影や描画などの基本機能で実践できることが望まれています。一方、表現の過程を安易に生成AIに任せるのは適切でないとされています。 P218 P221

授業では 端末で描いた絵を何枚も撮影してつなぎ、短いアニメーションを作って発表し合う、といった授業が考えられます。

ほかにも変わること（中学校）

- 発想・構想から工夫して表すまでを、まるごと「思考・判断・表現」に P212 P214 P216
- 評価：題材ごとに全観点を記録しなくてよい。複数題材でまとめて総括も可 P221
- 図画工作・美術：学びの方向が分かる新しい区分と〔共通事項〕の見直し P215 P216 P219
- 鑑賞にも「技能」を示す（図画工作・美術・工芸・書道） P216 P219
- 音楽：知識と技能を一文で示し、「身体の使い方」を重視 P216 P219
- マンガ・アニメ・ゲーム・映像など、多様な芸術や文化の学びを充実 P218
- 生成AIは「ツール」として。表現の過程を安易に任せない P221

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜
https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/
｜2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。